

ナチュラリストの

# フィールド日記

345

中川宗孝(環境生物研究会・城陽環境パートナーシップ会議)

## 2022年吉兆の幕開け 宇治川に珍鳥飛来!

◎宇治川水鳥ウォッチング

野鳥カメラマンの山中十郎さん撮影の写真で綴る宇治川の生息する水鳥たちのフォトレポートです。まずはコウライアイサをご覧下さい。(写真①)

宇治川流域では、狩猟鳥に指定されているマガモ・カルガモ・コガモ(写真②)の御三家に、ヒドリガモ・オナガガモ・ヨシガモ・オカヨシガモ・ハシビロガモなどの外オシドリ(写真③)とトモエガモ(写真④)のレドリストの希少種たちが

南山城地方の各地で観察されています。宇治川最下流の三川合流辺りの記録だけでカワアイサもかつては珍しかったものの20年前から木津川で少数の越冬が確認され、2010年には宇治川で夏場にも観察され繁殖も期待されるようになって現在に至っています。

カワアイサとレドリストの希少水鳥ですが、近似的とはいえず、高麗に由来する朝鮮半島北部から中国・ロシア南東部沿岸の限られた地域の森林地帯で、極少数の繁殖が記録されているだけに、国際自然保護連盟・IUCNのレドリストでも絶滅危惧種

に掲載されています。そんな国際的希少鳥類のコウライアイサのペアが1986年に岐阜県の本曾川で発見され、当時の写真週刊誌が異例のスクープ写真として掲載したこともあって、全国の愛鳥家たちが珍鳥詣でに訪れました。こうした情報に、前年にも隣の掛斐川に飛来していたことや、全国ガンカモ一斉調査の折などに丁寧に観察されるようになり、以後コウライアイサの確認記録もぼつぼつと出てきました。現在、ほぼ毎年全

今年も早ひと月が過ぎ、ここに来てあらたなおミクロン株のまん延で、ようやく復活を果たし喜々としてフィールドを駆け巡るナチュラリストにとって、もうひとつのライフワークである観察会や講演会など啓蒙活動の場の消滅への影響を心配しています。

本紙新春号の「ナチュラリストの年賀状」での宣言通り、今年は昨年度のコロナ鬱による負の連鎖から脱却し、郷土の環境資料に貢献するフィールド調査の計画がモチベーションとなって、野鳥を中心に両生・爬虫類から水生生物まで新たな発見と成果を願って始動しています。そして、鉄道マニアでもあり、動物園や水族館に博物館などのミュージアム巡りが趣味を通りこした生き甲斐となっているナチュラリスト、実に2年ぶりにローカル列車の旅で秘境駅路線と私鉄や路面電車を楽しんできました。博物館に動物園・水族館も堪能し、ようやくコロナ鬱の呪縛から解放され、寒風の中のフィールド探査も充実の2022年1月、鳥人ナチュラリスト復帰のお年玉情報が相次いで届きました。

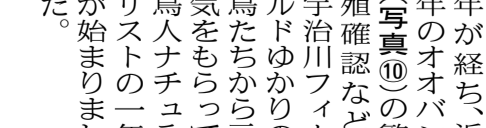
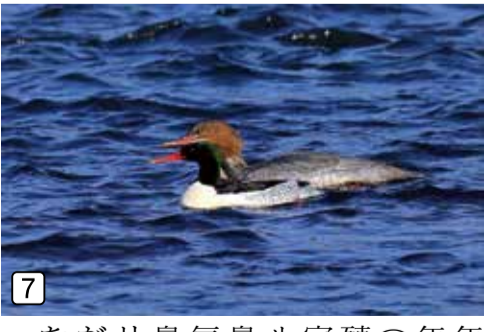
そのひとつが、世界的な希少鳥類のコウライアイサが宇治川に飛来した!とのビッグニュースで、各地から駆けつけたたくさんのバードウォッチャーたちと共に大珍鳥との出逢いを喜び合いました。当洛夕伊新報でもいち早く取材いただき、1月12日付紙面でカラー写真6枚を配した詳細記事が大きく報じられています。こうしたマスコミ報道記事は将来にわたっての文献資料となる公式な記録で、筆者も京都府南部・南山城鳥類目録改訂版発表の折には添付資料として活用させていただきます。

こうした貴重な資料記事では、昨年も京都府初記録となるシラコバトが京田辺市で発見された報道がありましたが、今シーズンも同所で観察・撮影され、一過性の迷行記録ではなく越冬地としての再渡来なら全国でも例を見ない大発見です。昨シーズンも観察は断片的でしたが、思わぬ初夢朗報に神出鬼没の大珍鳥・シラコバトの追認に調査メンバーたちと奔走しています。

また、希少鳥類の保護を目的とした巣箱プロジェクトも始動し、レドリストの猛禽類・チョウゲンボウにアオバズクなどを対象としたオリジナル巣箱の設置も始まりました。鳥類標識調査研修会では、昨年の宇治川河川敷に続いて京田辺市でも、レドリストの珍鳥・アリスイを標識放鳥することができました。そして、ホオジロ科の小鳥のアオジが、環境省の鳥類観測ステーションがある新潟県の福島潟から渡来して越冬していることも分かりました。こうしたリカバリーと呼ばれる記録や、リターンと呼ばれる同一個体のシーズンをまたいだ再捕記録は、渡りのルート解明や生息環境など野鳥保護に直結する調査データを得る手段として、鳥類研究者をめざす後継者たちが学んでいます。

季節がら鳥類がメインのフィールド活動も、2月からは厳冬期に産卵するニホンアカガエルとヤマアカガエルに、カスミサンショウウオからヤマトサンショウウオに名称変更された京都府の希少野生生物の繁殖調査も組み入れ、コロナ鬱の2年間のうっぷんを晴らす調査で日本爬虫両棲類学会大会でも研究成果の発表ができることを願っています。

盛りだくさんの話題の中から、まずは新年最初にふさわしい朗報・コウライアイサ飛来記録の発信です。宇治川の水鳥たちのフォトギャラリーと共に楽しみ下さい。



年が経ち、近年のオオバン(写真⑩)の繁殖確認など、宇治川フィールドゆかりの鳥たちから元気をもらって鳥人ナチュラリストの一年が始まりました。